徳島Campus

学部

看

護 学

科

【年次 3年次 4年間の学び 年次 4年次 一般教養科目と看護に必要な 看護の基礎と対象に応じた具体的な看護援助と 個別性を考えた専門分野の実習と より専門的な実習と卒業研究や 選択科目(保健師・助産師)の学修 国家試験に向けた重点的な学修 ●看護教育論(選択) ●一般総合科目 ●看護学概論 ●薬理学 ●ヘルスアセスメント論 ●災害看護学 臨床看護実践演習 ●チーム医療論 ●地域·在宅看護学概論 ●形態機能論—— ●看護理論 ●疾病論 ●治療に伴う援助技術 (シミュレーション演習) (呼吸器·循環器系疾患)●医療ICT論 ●地域·在宅看護援助論 (消化器・内分泌系) ●看護研究方法論 ●成人看護学概論 ●形態機能論 ●先端医療看護論 ●家族看護論 ●老年看護学概論 ●看護倫理学 (消化器·腎·泌尿生殖器系疾患 ●卒業研究 (呼吸器·循環器) ●クリティカルケア ●地域包括ケア論 ●日常生活援助技術 ●看護システム論 ●疾病論 ●臨床看護実践演習 ●形能機能論 (神経系·骨運動器·感覚器系疾患)●老年看護援助論 ●看護政策論(選択) ●国際看護学 ●検査・診断に伴う援助技術 (牛殖器・神経系) ●糖尿病看護論(選択) ●母性看護援助論 ●コミュニケーション論(基礎編) ●生化学 ●疾病論 母性看護学実習 ●がん看護学(選択) (內分泌系·代謝系疾患、精神疾患)●小児看護援助論 ●学校·産業健康保健論 それぞれの専門分野で各論 ●栄養学 母性看護学実習では、授 ●リスクマネジメント ●ボランティア活動論(選択) ●精神看護援助論 的に学んできた知識と技術 看護師になるための専門科目 ●母性看護学概論 業で学んだ内容をより深 ●感染学 ●看護サービス論 ●急性期看護援助論 を統合的に応用する力を養 ●小児看護学概論 めるため、学内での演習 本学科の学生全員が学ぶ科目となり ●病理学 検査・診断に伴う援助技術 ●遺伝看護学(選択) う科目です。各々の教員が担 ●慢性期看護援助論 ●精神看護学概論 をしっかりおこない実習 ●公衆衛生学 ●臨床薬理学 当し、専門性をいかしながら ●コミュニケーション論 に臨んでいます。演習で ●看護過程論 ●情報処理·統計学 (実践編) 総まとめの授業をおこないま は、沐浴、妊婦健康診査 す。写直は救命処置のシミュ など基本的な技術を学 精神看護学概論 レーション演習の様子です。 講義と演習を組み合わせ、 ●領域別実習 看護の対象者が安全・安楽 病院での最後の実習になり · 急性期看護学実習 · 慢性期看護学実習 ●地域·在宅看護論実習 ●基礎看護学 ●基礎看護学実習I に受療できるための基礎的 ます。県内外5ヵ所の病院で 実習Ⅱ ·老年看護学実習 ·精神看護学実習 ●看護管理学実習 な看護技術を学修します。 実習をおこなう中で、夜勤実 精神保健、精神障がいを持つ ·母性看護学実習 ·小児看護学実習 習も経験します。学生は臨床 人の回復を援助するための 経験豊富な看護師が|対|で 講 形態機能論 基礎的な考え方を学びます。 ●地域診断論 指導します。 ●対象別公衆衛牛看護活動論 ●健康教育論 人の体を作っている器官の ●母子保健関係論 保健師になるための専門科目 ●保健医療福祉行政概論 ●疫学 ●公衆衛生看護管理論 正常構造と機能を学びます。 ●保健統計学 (健康危機管理含む) ●公衆衛生看護学概論 保健師の資格取得は選択制です。 病気を理解するための基礎 ●保健医療福祉政策論 ●公衆衛生看護技術論 専門科目の追加履修をします。 になる|年次の重要な科目の 習 一つです。高校の「生物」の 延長上の科目です。 ●公衆衛生看護学実習 治療に伴う援助技術 習 ※2年次前期に選択 公衆衛生看護学実習 治療を必要とする対 地域の特性や人々の生活 ●母子保健関係論 ●助産診断技術学(妊娠期) ●ウィメンズヘルスケア 象者に基本的な看 ●周産期ハイリスクケア論 実態・健康課題を理解し、地 基礎看護学宝習T ●助産学概論 ●助産診断技術学(分娩期) 助産師になるための専門科目 護技術を少人数体 域住民の健康水準の向上を 基礎看護学実習T ●周産期医学 ●助産診断技術学 ●地域包括母子保健論 制で学修します。知 ■ の実習終了後、グ めざした活動の展開方法と (産褥・新生児期) 助産師の資格取得は選抜による選択制 識や技術を学内演習 内 助産診断技術学 保健師の役割や機能を学ぶ ループごとに実習 です。3年前期に、資格取得希望者への ●臨床薬理学 という体験をとおし ●分娩期にある女性と胎 の学びを発表し、情 ため、県内6ヵ所の保健所と 選抜試験をおこないます。 ●助産管理学 て学びます。 ●助産診断技術学演習 保健センターで実習します。 習 児の生理的プロセスと生 報共有しています。 専門科目の追加履修をします。 理的状態からの逸脱を 診断するために必要な 助産学実習 ●助産学実習 習 ※3年次前期に希望者の中から選抜 知識、科学的根拠に基づ 県内の病院で実習します。正 いた分娩介助法と女性 常分娩を10例以上、帝王切開 ●教育相談(カウンセリングを含む) ●法学A(日本国憲法) に寄り添う助産ケアにつ などの多様な事例から4例程 講 ●保健医療福祉行政概論 ●養護概説 いて学びます。 度を経験します。 ●教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む) ●教育実践演習 ●生徒指導(進路指導を含む) ●教育課程総論 ●母子保健関係論 (養護教諭) 養護教諭になるための専門科目 ●健康相談活動 ●事前·事後指導 ●看護栄養管理論 ●教育原理 本学科で学ぶ科目以外に、教職課程の ●特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 科目の追加履修をします。 ●教職概論 ●教育社会学 ●教育心理学 ●特別支援教育論 ●養護実習I 習 ※1年次に選択 ●養護実習Ⅱ ■国家試験合格率100%を達成するためのサポート

■看護技術を習得するために充実した実習環境

①SA(Student Assistant)制度



|年生で初めて学修する実習である「基礎看護学実習I」 に4年生の先輩が指導・サポートする制度です。1年生は 看護の基礎となる知識・態度を修得します。サポートす る4年生は自分たちが学んできた技術を後輩に伝えるこ とで、自身の経験を積み、実際に看護師として働いた時 に困らないように実践にいかしています。学生からも好 評の制度です。

②臨地実習

学修した知識や技術を応用し、実践能力 を身につけるため、徳島県を中心に病院 や介護老人保健施設、保健所、訪問看 護ステーションなどで実施。教員と実習 施設の指導者が学生たちをサポートし、 年次に合わせてレベルアップできる質の 高い臨地実習となっています。

①国家試験対策(2~4年次)

国家試験合格率は、毎年全国平均を大きく上 回っています。合格には専門基礎知識はもちろ ん、思考力や判断力など多角的な力が求められ ます。全教員による国家試験対策補講や個別指 導をはじめ、2年次より模擬試験や外部講師によ る特別講義を計画的に実施しています。2021年 度の国家試験合格率は100%を達成しました。

②Exchange Meeting(卒業生との交流会)



さまざまな病院へ就職した 卒業生が在学生に向けて 病院の紹介や就職活動に ついてアドバイスをおこな います。実際に病院の看護 師として働く先輩から話が 聞ける良い機会です。

看護師・助産師・保健師国家試験 受験•合格

就職・進学

めざせる未来・

活躍できる仕事

- ●大学病院や総合病院などの病院
- ●保健センターなどの行政機関 ●訪問看護ステーション
- ●高齢者施設
- ●海外での看護活動

保健師

- ●保健所・保健センターなどの行政機関
- ●病院・診療所など ●地域包括支援センター
- ●訪問看護ステーション
- ●高齢者施設
- ●事業所(企業などの健康管理室) など

助産師

- ●産科を持つ大学病院や総合病院
- ●助産院

養護教諭

小学校、中学校、高等学校などの教育現場

- ●助産学専攻科進学
- ●大学院 看護学研究科進学

●看護の教育機関(看護教員)



★ 未 の チ カ ラ



卒業生 Voice

日本赤十字社 ひのみね総合療育センター 和田 百加 さん

知識や技術をしっかりと 身につけられる環境です

毎日、利用者やご家族の方に安心していただ けるような丁寧な看護を心がけ、様々な障が いを持つ方へ医療的ケアや日常生活援助の 仕事をしています。大学時代に看護技術の授 業で学んだ喀痰吸引やスクイージングを日々 の業務にいかしています。今の仕事に就けた のは担任やチューターの先生方が親身に対 応していただけたからこそです。これからも、 大学での学びを忘れずに、知識を深め、技術 を高めていきたいと考えています。